

授業科目	教育ボランティア演習					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	塚本 美紀						
授業概要	実務家教員として、高等学校教諭の経験があり、中学校及び高等学校の英語教員の研修及び国際交流を実施しているNPO法人の理事を務めている教員が担当する。中学校や高等学校が置かれている状況、学習指導要領、英語の指導の在り方などについて学び、生徒に学習支援活動を行う。授業では、学習支援の際に必要な準備、学習支援を行った後の振り返りなども行う。						
授業形態	対面授業（一部オンデマンド）			授業方法	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを行う。また、Google フォームや Padlet を使い双向型授業を行う。		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 中学生・高校生の置かれている状況の概要を理解できる。 2. 学習指導要領の概要を理解できる。 3. 生徒の状況に合わせて、英語を教えることができる。 4. 教職員及び他の受講生と協力して、学習支援活動を行うことができる。
理想的レベル	1. 中学生・高校生の置かれている状況の概要を理解し、自分のなすべきことを具体的に考るができる。 2. 学習指導要領の概要を理解し、必要な学習支援について考ることができる。 3. 生徒の状況に合わせて、効果的に英語を教えることができる。 4. 教職員及び他の受講生と協力し、自分の果たすべき役割を意識して学習支援活動を行うことができる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	40%	
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	10%	
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN31501J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

指示に応じて、レポートを作成したり、プレゼンテーションの準備をしたりする。	1回の目安時間（時間） 4
---------------------------------------	------------------

## 授業計画

第1回	オリエンテーション 授業の概要について説明する。
第2回	中学校及び高等学校を取り巻く状況（1） 全国学力調査やその他の文部科学省などが実施している調査の結果から、中学校及び高等学校の現状について学ぶ。

2025 年度

授業コード : 12106000

第 3 回	中学校及び高等学校を取り巻く状況（2） 教育に関する時事問題などから、中学校及び高等学校の現状について学ぶ。
第 4 回	学習指導要領 学習指導要領の概要について学ぶ。
第 5 回	言語活動や国際交流について（1） 中学校や高等学校の英語の授業で実施されている言語活動や国際交流について、グループごとに調査する。
第 6 回	言語活動や国際交流について（2） 第 5 回で調査した内容について、グループごとに発表する。
第 7 回	企画立案（1） 中学校または高等学校で実施できる言語活動または国際交流について計画する。
第 8 回	企画立案（2） 第 7 回で計画したことについて、発表の準備をする。
第 9 回	グループ発表 第 8 回で準備した内容について、グループごとに発表する。
第 10 回	企画の準備（1） 第 9 回の発表を振り返り、企画について検討する。
第 11 回	企画の準備（2）（オンデマンド） 第 10 回で検討したことを反映させて、企画案を修正する。
第 12 回	企画の準備（3） 企画の実施について、リハーサルを行う。
第 13 回	企画の実施 中学校または高等学校で英語学習や国際交流に関する企画を実施する。
第 14 回	企画実施の振り返り 中学校または高等学校での企画の実施を振り返り、課題等について話し合う。
第 15 回	振り返り この授業を通して学んだ日本の教育現場の状況について振り返り、それぞれの立場から自分の果たすべき役割について考える。
テキスト	適宜資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業中に紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	提出された次の授業でレポートについての振り返りを行う。
学生へのメッセージ・コメント	自分がこれまで学んだり経験したりしてきた英語学習や国際交流等について振り返り、どのような学習や経験がどのように自分の英語学習に影響を与えたかを考えたり、現在英語を学習している中学生や高校生がどのような学習や経験をすれば良い学びにつながるかについて考えたりしながら、授業の課題に取り組んでください。